

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

もくじ

子ども若者の育ちを促す地域でありたい
愛知県NPO雇用状況等調査からみえること
.....1P

団体紹介 NPO法人りんりん.....2P
NPO現場見学バスツアー.....2P
NPO担当職員リレー.....2P

愛知県NPO理解インターンシップ.....3P
サポちたインフォメーション.....4P

子ども若者の育ちを促す地域でありたい 愛知県NPO雇用状況等調査からみえること

会員団体はじめNPO法人のみなさまにご協力いただいた愛知県NPO雇用状況等調査のまとめができました。詳細は報告書を見ていただくとして、ここでは、2004年度に日本福祉大学知多半島総合研究所と共同で行った「福祉・子育て支援NPOで働く人の実態調査」との比較から若手に特徴的なことを述べます。(数字は概数)

今回の調査では、県内福祉分野のNPO法人31団体381人から回答をいただきました(前回22団体328人)。働く人の年齢層は70歳以上が前回の3倍以上の11%に、一方で20代は8%から6%に減少しています。これは、所属年数でも5～10年未満が3割、10年以上が2割を占め、全体の半数が5年以上継続しているという状況と一致します。

25歳未満の平均年収は、前回の163万円から173万円に約10万円アップ、若手の待遇が改善されている様子が見て取れると同時に、彼らの約半数が「生きがい」を求めてNPOに関わっており、7割がこのまま継続したいと答えています。

25～29歳では、この数字が9割にまで昇り、運営経営に関わりたいという人もわずかながら存在しています。ところが、30～34歳では、5割が「賃金に不満」6割が「辞めたい」と思ったことがあると答えています。

前回調査でも若手の不安が25～29歳で現れており、家族を持つ年代になると、雇用環境の整っていないNPOでの雇用継続を危ぶむ傾向が見て取れます。このような若手の6割以上が「上司・先輩による指導・ケア」「本音コミュニケーション」を団体に求めており、団体内で若者が雇用継続できる体制づくりをとともに考え合う機会と団体を越えた同世代のネットワークが必要です。

NPOの雇用の最大の特徴は「多様性」にあり、生きがいある仕事として関わる若手、家庭仕事両立型の女性、ボランティア志望のシニアに加え、今回調査では、対価が必要というシニア層の増加も見られました。

地域の支援を受けつつ社会貢献していくNPOならばこそ人間関係づくりが問われていると言えましょう。私たちは、地域全体で若者の育ちを応援していかなければなりません。

思い起こされるのは、日本社会の子ども・若者たちへの大人の責務です。就職難ということでは雇用環境の悪化だけでなく、学校時代のいじめ、不登校も大きく影響しています。引きこもり、ニートへ、私たちができることは何でしょうか？

1月に行った「地域力をたがやす～ささえあいの居場所」フォーラムで、NPOから提案のあった「子ども若者支援」について新年度早々にフォーラムを開催します。次世代につなぐ地域づくりについて、ご一緒に語り合いませんか？ (岡本)

事前予
約優先

いじめ・不登校・引きこもり
ニート・就職

こども・若者自立
支援地域フォーラム

- ◆日時 2011年4月16日(土曜日)
- ◆会場 クラシティ半田 3F ホール
- ◆参加費 500円



- ◆問合せ・申し込み 050-1183-1650(TEL・FAX)
- フォーラム実行委員会事務局 NPO法人エンド・ゴール

愛知県職員 NPO 理解インターンシップ

東元茉莉子さん(半田保健所) 10/28～11/5

研修を通じて感じた事は、大きく2つあります。1つ目は、NPOの人たちはやる気に溢れていて、高い目的意識と理念を持っている事です。現場を見て、パワーを感じ、刺激を受けました。2つ目は、NPOは困り事にすぐ動いて対応できる組織だという事です。現状をよりよくするために、何をしなければいけないのか常に考え、行動しているのが印象的でした。行政は現状をよりよくしたいと思っても、なかなか迅速には動けない事があります。だから、NPOと行政は協働して、深いつながりを持つ必要があると感じました。



石井由布子さん(医薬安全課) 11/13～11/19

今回の研修の様々な体験の中で印象に残ったのは、様々な考え、思い、願い、目標などを持った人々が、それを達成するための手段のひとつとしてNPOを組織しているのだと肌で感じた事です。NPOを設立した方や今まさに設立しようとしている方に話を聞き、実際に自分ができていることのできる範囲で活動されている方、将来のために現状を打開しようと奔走されている方、また、今自分の目の前の問題をどうにかしたいと考えている方など様々な方がいる事を知りました。さらに、目的が同じでも手段が違うNPOや、手段は同じでも目標が違うNPOがあり、本当に多種多様であると実感しました。NPOに関わっていく中で、「何故そのNPOが設立されたのか」も考える事が、今後よりよい協働を考える上で重要ではないかと思いました。



飯嶋洋基さん(国際課) 11/19～11/26

今回の研修で、サポートちたを始め、複数のNPO法人に伺うことができ、言葉でしかなかったNPOの具体的なイメージをつかむことができたことが、私にとって何よりの収穫でした。

福祉系NPOと一括りにしても、その活動は団体によって実に様々であることを、サポートちたの業務をお手伝いしたり、1日現場体験として他のNPO法人の活動を見学したことで知りました。そしてその多様さは、利用者のニーズに応えるため、あるいはそれぞれのNPOが持つ信念から生まれてくるものだという事とも、忙しい合間をぬって、丁寧にご自身の活動



を説明していただいた研修先の皆さんから教えていただきました。

サポートちたでは、NPO間のネットワーク、人と人とのつながりを非常に大切にされ、そこから生まれる新たな活動の可能性を常に探っておられました。その姿勢は、私が行政に従事していくうえでずっと参考にしていきたいと思います。そして、県職員としてNPOが持つ多様さや信念を最大限尊重するような形での協働の方法について考えていければと思います。

日比野彰範さん(尾張県民事務所) 12/3～12/9

私は、NPOの携わる方々のお話を聞き、「地域の課題を解決したい」という想いと行動力の強さに驚かされました。現場の研修を通して、NPO組織でも継続的な事業運営を行うため、利用者からの利用料は必然であり、決して貧困対策でやっているわけではないことに気づかされました。



最後に、決して高度な専門知識がなくても、利用者との触れあい等、身近な事から地域支援に参加することができる事を知り、私も今すぐにはいかないが、今後、時間を見つけ活動に取り組みたいと思うきっかけになりました。

木村友美さん(知多県税) 12/9～12/16

NPOについてよく知らなかった私にとって、サポートちたという場所は絶好の研修場所でした。一宮NPO講座や現場体験、バスツアーなどを通し毎日勉強と気づきの連続でした。研修では、「これはおかしい」と思っているでも仕方が無いと見て見ぬふりをしていると、いつの間にか変化に気づかないようになってしまっていた自分に驚き、「きっと誰でもこうだろう」と無意識に枠にはめていると、多様性を認めない硬い頭になってしまっていた自分に気づきました。



誰もが幸せになれるようにという理想に対して、あまりに多くの問題があり過ぎて目を背けてしまいがちです。特に愛知県職員として働いていると「県民のため」という漠然とした思いのために、いつの間にか思いを見失ってしまうのかもしれないと思いました。

NPOの活動は皆「目の前の人を助けたい。何とかしたい。」という身近な所から始まっていると聞きました。私は行政の側ですが同じ考え方をし、同じ思いを持てる職員になりたいです。

サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

◆◆イベント◆◆

■ 講演「みんながシアワセに暮らせるマチへ」富山型デイサービスの先駆者(N)このゆびと一まれ理事長惣万佳代子さんを迎え【地域協働応援事業フォーラム】を開催◆3月6日(日)13:30~16:30◆東急インホテルホールB(名古屋丸の内)定員50名◆参加費無料

◆申込先 市民フォーラム21・NPOセンター (若山・宮嶋) TEL052-919-0200

■ 愛知県とあいち健康長寿産業クラスター推進協議会主催の企業による製品開発等を紹介する【あいち健康長寿産業クラスター成果発表会】を開催◆3月18日(金)14:00~16:30◆ウインクあいち18階 愛知県貿易情報センターセミナー室(名古屋中村)定員70名(申込先着順)◆参加費無料◆申込先 愛知県産業労働部新産業課・科学技術推進室 TEL052-954-6349

■ 「共生文化創造への途」をテーマに、日本福祉大学原田正樹先生を迎え、第1回あいち・なごや福祉教育・ボランティア学習研究フォーラムを開催。内容は、基調講演・シンポジウム・ワークショップ◆3月21日(祝・月)12:50~16:30◆日本福祉大学名古屋キャンパス(北館8階)定員100名◆参加費500円◆3月14日までにFAX052-802-7552へ申込

■ 「聴覚に障がいのある方々にも、楽しんでいただきたい」と、音と光と共感のステージ【バリアフリーコラボレーション】を開催。体験ワークショップ併設、事前要予約◆3月26日(土)14:00~16:00(体験は9:45~11:15)◆ゆめたろウプラザ響きホール(武豊)◆入場無料◆問合せ 打楽器インターフェースを楽しむビブラション代表 小寺岸子 TEL090-3958-2586

■ あいちホスピス研究会の公開講座を5回開催。「妻を看取る日」の著者垣添氏をはじめホスピスの第一人者が講師陣◆4月2日、23日、5月8日、21日、6月18日各回10:30~16:00◆会員・学生:4,000円、一般:6,000円◆ウイルあいち(名古屋東区)◆3/15(月)締切先着順◆問合せ 「あいちホスピス研究会」事務局 TEL/FAX0561-72-5145

■ 学童保育所・児童デイサービス・保育園等のスタッフとしての基礎知識を身につける「保育スタッフ育成コース」開講(現場体験あり) ※保育士受験科目

◆4/18~7/19(60日間) 9:00~15:30 ◆会場 NPO 法人プレマクラブ 2階研修室(半田市亀崎)◆問合せ NPO 法人プレマクラブ(石川)TEL0569-29-0810

◆◆掲示板◆◆

■ 高齢者・介添えの必要な方に安心して愛知の旅を楽しんでいただくために、あいち旅サポーター事業(愛知県委託事業)がスタート。県内主要観光地のバリアフリー情報や車いすの移動、観光のお手伝い等を実施。平成24年3月末までは無料利用可。◆問合せ あいち旅サポーターセンター(名鉄観光サービス内 担当:市橋) TEL052-582-2164/ FAX052-533-6682

■ 食堂椅子が必要な方はいませんか?業務用で頑丈な椅子 15脚あります。引き取りに来ていただける方へ無償提供します◆問合せ きらゆめ戸田愛 TEL090-4235-7269

■ 知多地域成年後見センターでは、事務所拡大に伴い、事務机・鍵付キャビネット・ロッカーを必要といたします◆問合せ NPO 法人知多地域成年後見センター TEL0562-39-2663

≪サポートちた事業予定 担当:竹内≫

■ ホームヘルパー2級養成研修講座 土日コース

<日時> 5/14~9/4 9:30~16:30

<場所> NPO 法人りんりん・知多市市民活動センター

<参加費> 65,000円(テキスト代・実習費込)

<申込締切> 定員(40名)になり次第締め切り

■ 訪問介護員2級養成科

<日時> 4/18~7/15 9:00~15:50(土日除く)

<場所> 第8オオタビル・3階会議室

(名古屋市千種区桜が丘295)

<受講料> 無料 <テキスト代> 6,800円

<定員> 30名 <募集期間> 2/21~3/22

<申込方法> ハローワークで求職申込後、基金訓練の受講を申し入れ、受講申込書を郵送又は、ご持参ください。

NPO現場見学バスツアー



3月22日(火) 9:30~16:30 定員8人

4月21日(木) 9:30~16:30 定員26人

参加費 5,000円(昼食代別途)

オプションバスツアー常時受付中!
目的に合わせて企画します。(担当:江端)



特定非営利活動法人
地域福祉サポートちた



478-0047 知多市緑町12-1

知多市市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631
Fax 0562 (33) 1743